

令和 7 年度

教育委員会の権限に属する事務の管理及
び執行の状況に関する点検・評価報告書

上ノ国町教育委員会

目 次

I	点検及び評価の概要	1
1	はじめに	1
2	点検及び評価の対象	1
3	点検及び評価の方法	1
4	議会への報告	1
5	報告書の公表	1
II	教育委員会の運営状況	2
1	教育委員会委員	2
2	教育委員会議の開催状況	2
3	教育委員会議以外の主な活動状況	5
III	教育委員会所管予算・決算状況	7
1	令和7年度予算・決算状況	7
2	年度別教育委員会所管予算の推移	7
IV	教育委員会の権限に属する事務の管理及び執行の状況に関する 点検・評価シート	8

I 点検及び評価の概要

1 はじめに

地方教育行政の組織及び運営に関する法律（以下「法」という。）に基づき、教育委員会は、毎年、その権限に属する事務の管理及び執行の状況について点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を作成し、これを議会に提出するとともに、公表することが義務付けられています。

2 点検及び評価の対象

令和7年第1回上ノ国町議会定例会で教育長が表明した令和7年度教育行政執行方針に掲げる主要施策を点検及び評価の対象とします。

3 点検及び評価の方法

令和7年度教育行政執行方針の各施策について、教育委員会が「領域」、「主要課題及び目標」、「施策項目」に分類し、「達成度※」、「主な取組状況」、「課題と問題点」に分けて点検及び評価を行いました。

※達成度の記入方法

達成できたもの	◎
おおむね達成できたもの	○
若干課題が残るもの	△
達成できなかったもの	×

4 議会への報告

「令和7年度上ノ国町教育委員会点検・評価報告書」として、町議会に提出します。

5 報告書の公表

町議会への提出後、町のホームページにより「令和7年度上ノ国町教育委員会点検・評価報告書」を公表します。

Ⅱ 教育委員会の運営状況

1 教育委員会委員

教育委員会は、地方教育行政の組織及び運営に関する法律第3条の規定により、教育長と4人の教育委員から構成されています。

(令和8年3月31日現在)

職 名	氏 名	任 期
教育長	上 野 敦 也	令和5年10月1日～令和8年9月30日
委員（職務代理者）	波佐谷 宏 昭	令和6年10月1日～令和10年9月30日
委員	古 館 和 江	令和7年10月1日～令和11年9月30日
委員	野 崎 香奈子	令和5年10月1日～令和9年9月30日
委員	水 島 久 治	令和6年9月12日～令和8年9月30日

2 教育委員会議の開催状況

教育委員会は、町長から独立した執行機関として設置されており、教育長及び教育委員4名で組織し、6回の会議を開催しています。町の教育に関する事務を管理及び執行するために、教育行政運営上の重要な付議事件等について審議し決定しています。開催状況は、次のとおりです。

開催日	出席者	案 件	結 果
令和7年第3回 令和7年5月27日	5名	議案 ○第1号 令和7年度教育委員会所管予算の補正について	可決
		○第2号 上ノ国町文化財ミュージアム建設プロポーザル選定委員会設置要綱の制定について	可決
		○第3号 上ノ国町教育支援委員会設置規則の一部を改正する規則の制定について	可決
		○第4号 上ノ国町教育支援委員会委員の任命について	可決
		報告 ○第1号 令和6年度教育委員会所管予算の専決処分について	承認
		○第2号 上ノ国町教育委員会事務局職員等の人事発令について	承認
		○第3号 上ノ国町学校運営協議会委員の任命について	承認
		○第4号 上ノ国町文化財保護審議会委員の委嘱について	承認
		○第5号 上ノ国町史編集委員会委員の委嘱について	承認
		○第6号 令和7年度教育委員会所管予算に係る各種契約等の締結について	承認
		○第7号 上ノ国町学校給食費徴収条例施行	承認

		規則の制定について ○第 8 号 上ノ国町学校給食費補助金交付規則の一部を改正する規則の制定について ○第 9 号 上ノ国町立学校教育指導主幹設置に関する規則の一部を改正する規則の制定について ○第 10 号 上ノ国町通級指導実施要綱の制定について ○第 11 号 上ノ国町スポーツ少年団活動費助成金交付要綱の一部を改正する告示の制定について ○第 12 号 上ノ国町文化財ミュージアム建設委員会設置要綱の制定について	承認 承認 承認 承認 承認
令和 7 年第 4 回 令和 7 年 8 月 12 日	5 名	議案 ○第 1 号 令和 8 年度に使用する小学校用教科用図書の採択について ○第 2 号 令和 8 年度に使用する中学校用教科用図書の採択について ○第 3 号 令和 8 年度に使用する一般図書の採択について 報告 ○第 1 号 上ノ国町いじめ防止対策推進条例の規定による重大事態の発生について	可決 可決 可決 承認
令和 7 年第 5 回 令和 7 年 9 月 5 日	5 名	議案 ○第 1 号 上ノ国町教育委員会所管予算の補正について ○第 2 号 令和 6 年度上ノ国町教育委員会の権限に属する事務の管理及び執行の状況に関する点検・評価報告の上ノ国町議会への提出について 同意 ○第 1 号 令和 7 年度全国学力・学習状況調査「北海道版結果報告書」への市町村別結果の掲載について 報告 ○第 1 号 上ノ国町立学校職員の令和 7 年 6 月期における勤勉手当に係る成績区分の判定について ○第 2 号 上ノ国町いじめ問題対策連絡協議会委員の委嘱又は任命について ○第 3 号 上ノ国町いじめ防止等対策委員会委員の委嘱又は任命について ○第 4 号 いじめに関する意識調査について ○第 5 号 令和 7 年度教育委員会所管予算の補正について（第 1 回町議会臨時会 7 月 29 日開催） ○第 6 号 令和 7 年度教育委員会所管予算に	可決 可決 可決 承認 承認 承認 承認 承認

		協議 ○第1号 令和7年度教育委員会学校訪問について	決定
令和7年第6回 令和7年12月2日	5名	議案 ○第1号 令和7年度教育委員会所管予算の補正について 報告 ○第1号 上ノ国町いじめ防止等対策委員会委員の委嘱について ○第2号 令和7年度全国学力・学習状況調査の結果について ○第3号 上ノ国町立学校職員の令和7年12月期における勤勉手当に係る成績区分の判定について ○第4号 令和7年度教育委員会所管予算の補正について（第3回町議会臨時会 11月26日開催） ○第5号 令和7年度教育委員会所管予算に係る各種契約等の締結について ○第6号 令和8年度上ノ国町立小学校入学予定者について ○第7号 上ノ国町教育委員会事務局職員の人事発令について	可決 承認 承認 承認 承認 承認 承認
令和8年第1回 令和8年1月20日	5名	議案 ○第1号 外国語指導助手等任用規則の一部を改正する規則の制定について ○第2号 上ノ国町遺跡発掘調査就業規則を廃止する規則の制定について 同意 ○第1号 令和7年度全国体力・運動能力、運動習慣等調査「北海道版結果報告書」における市町村別結果の公表について 報告 ○第1号 市町村立学校職員の令和8年1月1日昇給における昇給区分の決定について ○第2号 令和7年度教育委員会所管予算に係る各種契約等の締結について	可決 可決 可決 承認 承認
令和8年第2回 令和8年2月27日	5名	議案 ○第1号 令和7年度教育委員会所管予算の補正について 報告 ○第1号 令和8年度教育委員会予算の査定結果について ○第2号 上ノ国町学校給食費補助金交付規則の一部を改正する規則の制定について	可決 承認 承認

		協議 ○第1号 町立学校卒業式及び入学式への委員の参列について	決定
--	--	------------------------------------	----

3 教育委員会以外での主な活動状況

教育長及び教育委員の学校訪問、会議・行事等の出席その他の活動状況については、次のとおりです。

開催日	出席者	行 事 等	活動場所
令和7年4月7日	2名	町立学校入学式（波佐谷委員、水島委員）	各町立学校
令和7年4月8日	1名	上ノ国高等学校入学式（教育長）	上ノ国高等学校
令和7年4月10日	1名	檜山管内教育委員会教育長会議（教育長）	北海道檜山合同庁舎
令和7年5月17日	1名	上ノ国中学校体育祭（教育長）	上ノ国中学校
令和7年5月31日	1名	上ノ国小学校・河北小学校運動会（教育長）	上ノ国小学校、河北小学校
令和7年7月2日	1名	管内教育委員連合会総会（教育長）	北海道檜山合同庁舎
令和7年7月4日	1名	上ノ国町教育委員会、上ノ国高等学校及び札幌大学による教育的包括連携協定書締結式（教育長）	上ノ国町総合福祉センター
令和7年7月10日	1名	臨時教育長会議（教育長）	Zoom
令和7年7月15日	1名	第2回檜山管内教育委員会教育長会議（教育長）	Zoom
令和7年7月16日～18日	3名	第60回北海道市町村教育委員会研修会（教育長、古館委員、野崎委員）	札幌市教育文化会館（札幌市）
令和7年8月15日	3名	上ノ国町20歳を祝う会（教育長、古館委員、野崎委員）	上ノ国町総合福祉センター
令和7年8月21、22日	1名	道南ブロック教育長研修会（教育長）	せたな町民ふれあいプラザほか
令和7年9月17日	5名	教育委員会学校訪問（教育長及び教育委員）	各町立学校、上ノ国高等学校
令和7年9月28日	1名	町民スポーツフェスティバル	上ノ国町スポーツセンター
令和7年10月15、16日	1名	北海道町村教育委員会連合会教育長部会研修会（教育長）	ホテルライフオーブ札幌（札幌市）
令和7年10月18日	1名	上ノ国中学校学校祭（教育長）	上ノ国中学校
令和7年10月19日	1名	河北小学校学習発表会（教育長）	河北小学校

令和7年10月23、 24日	1名	渡島・檜山管内市町教育委員会教育長研修会（教育長）	乙部町民会館
令和7年10月25日	1名	上ノ国小学校学習発表会（教育長）	上ノ国小学校
令和7年11月3日	4名	町民表彰式（教育長、波佐谷委員、古館委員、野崎委員）	上ノ国町総合福祉センター
令和7年11月13日 ～14日	3名	檜山管内教育委員会委員研修会（古館委員、野崎委員、水島委員）	函館少年刑務所ほか
令和7年11月28日	1名	上ノ国高等学校国際交流事業海外研修報告会（教育長）	上ノ国町総合福祉センター
令和7年12月15日	1名	第3回檜山管内教育委員会教育長会議（教育長）	江差町保健センター
令和8年1月19日	1名	新春書き初め大会表彰式（教育長）	上ノ国町総合福祉センター
令和8年1月20日	5名	上ノ国町総合教育会議（教育長及び教育委員）	上ノ国町総合福祉センター
令和8年3月1日	1名	上ノ国高等学校卒業式（教育長）	上ノ国高等学校
令和8年3月6日	1名	上ノ国町教育・文化・スポーツ表彰式（教育長）	上ノ国町総合福祉センター
令和8年3月13日	1名	上ノ国中学校卒業式（水島委員）	上ノ国中学校
令和8年3月19日	2名	上ノ国小学校、河北小学校卒業式（教育長、野崎委員）	上ノ国小学校、河北小学校
令和8年3月27日	1名	第4回檜山管内教育委員会教育長会議（教育長）	北海道檜山合同庁舎

Ⅲ 教育委員会所管予算・決算状況

1 令和7年度予算・決算状況

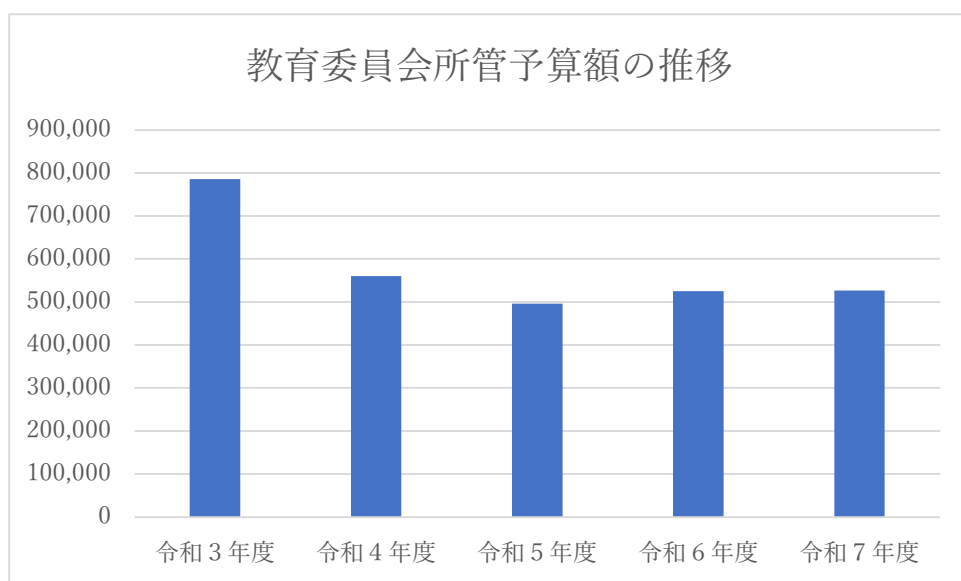
(単位：千円)

款	項	予算現額	構成比	支出済額	翌年度繰越額	不用額	執行率
3 民生費	1 社会福祉費	22,481	4.3%	22,182	0	299	98.7%
10 教育費	1 教育総務費	33,437	6.4%	32,573	0	864	97.4%
	2 小学校費	96,443	18.4%	92,612	0	3,831	96.0%
	3 中学校費	82,502	15.7%	79,268	0	3,234	96.1%
	4 社会教育費	123,523	23.5%	122,307	0	1,216	99.0%
	5 保健体育費	167,960	31.9%	165,198	0	2,762	98.4%
計		526,346	100.0%	514,140	0	12,206	97.7%

2 年度別教育委員会所管予算の推移

(単位：千円)

年度	予算現額	前年度比
令和3年度	786,033	172.3%
令和4年度	560,158	71.3%
令和5年度	495,685	88.5%
令和6年度	524,916	105.9%
令和7年度	526,346	100.3%



IV 教育委員会の権限に属する事務の管理及び執行の状況に関する点検・評価シート

教育指針 「かかわりあい 学びあい 育ちあう 学びの共同体」

上ノ国町教育委員会

領域	主要課題及び目標	施策項目	評価		課題と問題点
			達成度	主な取組状況	
新たな時代を生きた子どもたちを育む学校教育の推進	地域に開かれ信頼される学校づくりの推進	保護者及び地域住民等の学校運営への参画の促進や連携強化を進める。		学校運営協議会を次のとおり開催した。 第1回 令和7年7月10日 ① 会長及び副会長の選出について ② 学校運営に関する基本的な方針について ③ 地域学校協働活動について 第2回 令和7年11月10日 ① 「ヒト・モノ・コト」でつながる学校と地域 第3回 令和8年3月10日 ① 令和7年度学校評価について ② 令和8年度学校運営に関する基本的な方針の概略(グラントデザイン)について ③ 子どもたちのネットトラブルについて	学校運営協議会での、小・中・高を通じて系統的な学びや地域との連携・協働に係る熟議を通じ、各校の取組や課題の共有が図られつつある一方、系統的な学びの実践には十分につなげていない状況が見られる。今後は、地域との連携・協働が、各校が抱える教育活動の充実や課題解決につながることにについて理解を深め、地域の人材や資源を生かした取組につなげていく必要がある。
	働き方改革の推進	「上ノ国町アクション・プラン」を推進し、効率的で効果的な働き方の構築に努める。		学校生活で特別な支援を要する児童生徒のサポートなどの業務を行うため、特別支援教育支援員を増員し、教員が本来担うべき業務に専念できる環境を整備した。動作に不安定さが見られていた校務用パソコン及び学習用タブレットを更新し、安定した作業・学習環境を確保した。保護者との連絡ツールを校務支援システムと連携可能なアプリに更新し、保護者からの欠席・遅刻等の連絡に係る教職員の事務負担の軽減と情報共有の効率化につなげた。	教職員の1人当たり時間外在校等時間について、小学校では前年比90%と大幅な縮減が図られたものの、中学校では107%と増大していることから、内容を検証し、より一層の縮減に努める必要がある。道教委からのメール処理について、教育委員会において精選を進める必要がある。
	ICT教育の推進	子どもたちが学習への興味関心を高め、「主体的・対話的で深い学び」に向けた授業改善と学習支援を進めつつ、教職員のICT活用技術の向上を目指す。		動作に不安定さが見られていた学習用タブレットを更新し、安定した学習環境を確保した。授業支援ツールやデジタルドリル等のICT教材を活用し、児童生徒による学習への興味関心を高めることができたほか、効率的・効果的な授業を行うことができた。また、中学校のデジタルドリルをAIドリルに更新し、生徒一人ひとりの理解度や学習状況に応じた個別最適な学びを支援する環境を整備した。保護者との連絡ツールを校務支援システムと連携可能なアプリに更新し、保護者からの欠席・遅刻等の連絡に係る教職員の事務負担の軽減と情報共有の効率化につなげた。教職員のICT活用能力の向上を図るため、ICT研修会(1回)を開催した。	教職員によるICT機器に関する不具合発生時やICT教材を用いた授業改善のための相談窓口の整備を進める必要がある。
	幼児教育の推進	幼児期の特性や発達課題などに応じ、幼児教育機関と小学校の円滑な接続に向けた取り組みを図るなど、幼児期からの学びの基盤づくりに努める。	◎	学びの共同体による活動により、保育所参観や幼児・児童・生徒実態交流会の開催等の取組を行った。架け橋期のカリキュラムについて、保育所と小学校の連携や学びのつながりをより明確にするため、これまでそれぞれが作成していたカリキュラムを基に、年間を通したプログラムとして整理した。	架け橋期のカリキュラムについては、形骸化させることなく、今後も充実させていく必要がある。

IV 教育委員会の権限に属する事務の管理及び執行の状況に関する点検・評価シート

教育指針 「かかわりあい 学びあい 育ちあう 学びの共同体」

上ノ国町教育委員会

領 域	主要課題及び目標	施 策 項 目	評 価		
			達成度	主な取組状況	課題と問題点
	外国語教育の推進	外国語を通してコミュニケーション能力と国際理解の向上を見据え、外国人英語指導助手の継続登用により、学校と連携した授業づくり等を支援する。	○	外国語指導助手による指導やデジタル教科書の活用により、外国語教育の充実を図った。	小中高と系統化した英語教育の枠組みを構築する必要がある。
	いじめや不登校の未然防止	生徒指導について、望ましい人間関係を築く力を育むことを基本とするほか、昨今社会問題となっている、いじめ重大事案に対する対策として、これらの問題が発生した場合に速やかに対処対応できるよう、いじめ防止対策推進法に基づき上ノ国町いじめ防止対策推進条例を制定する。	×	上ノ国町いじめ防止対策推進条例を制定するとともに、上ノ国町いじめ防止基本方針を改定し、町、教育委員会、学校等が連携して、いじめ防止等に組織的に取り組むための体制を整備した。 上ノ国町いじめ問題対策連絡協議会兼上ノ国町いじめ防止等対策委員会の開催（年2回）を通し、関係機関との連携及び情報共有の促進を図った。 いじめアンケートの実施回数を年3回に増やし、いじめの早期発見に努めた。	いじめ重大事案が発生したことにより、関係機関が連携して事案への対応を行ったものの、学校の初期対応に課題が見られたことから、今後、いじめの未然防止及び早期発見に努めるとともに、事案発生時の迅速かつ組織的な対応を徹底する必要がある。
	安全教育の推進	自然災害から命を守る防災教育の充実と防犯、交通安全に対する意識の向上、また、ネット犯罪やトラブルに巻き込まれないための情報モラル教育の実践や、上ノ国高等学校生徒の協力によるピアサポート活動を支援する。	◎	各校ともに「1日防災学校」の取組を通し、児童生徒の防災意識及び災害対応能力の向上を図った。 学びの共同体の取組として、小・中・高の児童会・生徒会執行部が中心となり、江差警察署上ノ国駐在所にて「小・中・高合同交通安全キャンペーン」を実施し、通行中の車両への交通安全の啓発を行った。 ネット犯罪やトラブル防止のため、ネットバトロールを実施した。	防災教育・交通安全教育については、形骸化しないよう不断の見直しを行う姿勢が必要である。 ネット上のトラブルに巻き込まれることのないよう、引き続きネットバトロールを実施する必要がある。
	小規模・複式教育の充実	学校間交流を行うことによる自主性や集団性を育てる学習の充実と、互いに学び合える力を身に付けるための学校間連携などの活動を進める。	◎	河北小において、校内行事や校外学習、外部講師による授業など、日常の様々な教育活動において、「感想発表タイム」を設け、自分の言葉で意見や感想を発表する機会を意図的に設定した。 全校集会で学年による発表や作文発表を定期的に実施した。 上小との合同学習や合同行事を通して小小連携や児童間交流が図られた。	小中連携について、職員相互による授業参観のほか、児童生徒徒間交流を通し、小中の円滑な接続や中1ギャップの解消に引き続き努める。
	特別支援教育の充実	特別な支援を要する児童生徒の把握と理解に努めることはもとより、児童生徒一人ひとりが充実した学校生活を過ごすことができるよう特別支援教育支援員を配置しつつ、「個別最適な学び」を担保するためにも、子どもたちの特性に応じた「通級」による指導を展開する。	○	特別支援教育に対する教員の専門性の向上を目指して、道教委に対し上ノ国小、上ノ国中でパートタイマーチャーターの派遣を要請し、校内研修に努めた。 普通学級に在籍する特別な支援を要する児童生徒の多様な特性に対応するため、特別支援教育支援員を配置（上ノ国小・上ノ国中については増員）し、学習活動上のサポートを行った。 今年度開設した通級指導教室について、教員の指導力向上を図るため、専門性の高い指導で知られる小樽市稲穂小学校において視察・研修を行った。	各校ともに複数の障害種の学級を開設しているが、その障害種に応じた教員の専門性の向上が求められている。 通級指導教室の役割や指導内容について、教職員間での理解や共通認識が十分に図られていないことから、校内において理解促進に向けた取組が必要である。

IV 教育委員会の権限に属する事務の管理及び執行の状況に関する点検・評価シート

教育指針 「かかわりあい 学びあい 育ちあう 学びの共同体」

上ノ国町教育委員会

領 域	主要課題及び目標	施 策 項 目	評 価		課題と問題点
			達成度	主な取組状況	
	読書活動の推進	読書の習慣を身に付けるための啓発活動や、発達段階に応じた読書機会を提供する読み聞かせボランティアの支援に努める。	○	各校においては、朝読書の時間を設けるなどの取組により、読書習慣の定着に努めた。 絵本読み聞かせサークル「もこもこ」による「読み聞かせ巡回」や巡回図書の利用により、読書の楽しさ・豊かさにつながっている。	家庭内において動画視聴、ゲーム、SNS等を利用する割合が高く、読書時間ののみならず学習時間にも支障をきたしている。
	体力・健康づくりの推進	「全国体力・運動能力・運動習慣等調査」の結果を踏まえた授業の構築に努める。	○	「全国体力・運動能力・運動習慣等調査」における体力合計点について、小学校・中学校の男子・女子ともに全国・全道平均を上回ることができた。	引き継ぎ、バランスのとれた体力・運動能力を身に付けるための授業づくりに努める必要がある。 学校遊具の経年劣化が見られることから、安全点検及び必要に応じて更新を行う必要がある。
	未来を担う生徒の夢や希望を育てる中等教育の充実及び地域みらい留学への参画	上ノ国高等学校について、地域と一体となった教育を進めるため、関係機関との連携と接続を図る。 また、同校に新しい風を吹かせグローバルな視野に立脚しその存続につなげるため、地域みらい留学に参画し他地域からの入学生を募集するにあたり準備を整える。	◎	学びの共同体による活動及び特色ある学校運営を目的とした上ノ国高等学校に対する各種支援を通し、中等教育の充実を図った。 地域みらい留学に際して、オンライン及び東京会場での説明会を通じて、本町及び同校の魅力や特色をPRしたほか、本町や同校に関心を持った道外の中学生を招き、オーブンスクールへの参加や地域での暮らしを体験する、「おためし地域留学」を実施した。	学びの共同体の構成校である上ノ国高等学校の魅力化・特色化を進め、学校の存続を図る必要がある。 継続して、令和9年度からの道外生受入れに係る準備を進める必要がある。

IV 教育委員会の権限に属する事務の管理及び執行の状況に関する点検・評価シート

教育指針 「かかわりあい 学びあい 育ちあう 学びの共同体」

上ノ国町教育委員会

社会教育と生涯学習の推進	領域	主要課題及び目標	施策項目	評価	
				達成度	主な取組状況
スポーツと芸術・文化の活動推進	自助と互助の調和的浸透を図りながら充実した人生観と「豊かな自然・歴史・温もりのあまらづくくり」の一体化を図る。	地区生涯学習推進会議及び社会教育諸団体との協調	継続的な学習機会の提供と世代間連携に努める。	○	持続可能な社会教育活動の推進のため、生涯学習出前講座を実施し、地域力の活用として、地域農業士を講師とした小学校の農業体験を行い、地域学習の一環とした。 また、5地区の生涯学習推進会議（早川・滝沢・上ノ国・河北・湯ノ谷）においては、それぞれの地域の特色を生かした3世代交流事業や体験事業を実施し、世代間連携に努めた。 ・生涯学習出前講座 10回実施
		家庭教育の支援	親子のふれあいを源に信頼感と基本的な生活や学びを習慣づける育ちを育み、その成長を促すために関係機関と連携を図り、幼児期から学童期に亘る子育ての課題把握と情報交流を行い学習機会や子育て情報の提供・相談などの支援に努める。	○	町PTA連合会の主催による教育講演会を、町学校保健会と町生涯学習推進本部の共催としたほか、町内学校間や父母の連携・協力を密にし共通課題の解決や家庭教育の充実を図った。 「アイヌ民族の世界観と子育て」 本田優子・教育講演会 開催日：8/25、参加者：100名（札幌大学教授）
		未来を担う子どもたちの健全育成	家庭・学校・地域が連携し、青少年の健全育成に取り組むとともに、温かく見守りながら非行防止に努める。	◎	放課後の子ども居場所づくりとしてカムカムクラブ（小学生19名）を年間45回（全体25回、音楽14回、茶道6回）開催した。
		高齢者の健康と生きがいづくり	各種団体・サークルと連携し、軽スポーツや文化講座、地域活動やボランティア活動の動機づけと奨励に努める。	○	町生涯学習推進本部から各地区生涯学習推進会議を通じて高齢者を対象とした健康教室などを開催し、地区生涯学習活動として高齢者の活動支援を行った。
		女性活動の充実	女性団体組織の活動支援を中心にその自主性を尊重し、健康づくりや家庭・地域の生活文化の向上を目的とした研修機会の充実に努める。	○	上ノ国町の女性団体活動への活動支援を行い、組織の維持に努めた。 ・上ノ国町女性連絡協議会の総会での活動支援
スポーツと芸術・文化の活動推進	日常生活に活力を与え日々健康に過ごすための体力を養うスポーツ活動を推進する。	スポーツ活動の推進	運動を通じた生活習慣改善のための「健康増進プログラム」の継続的な実施に伴せ、スポーツ関係団体と連携を図りながら各種行事等の活性化に努める。	◎	誰もが気軽に健康・体力づくりに向けた取組のきっかけづくりやスポーツに親しむ場を提供するため、健康づくり教室の開催や、スポーツ推進委員と各スポーツ団体が連携し、「町民スポーツフェスティバル（9/28、22チーム、214名参加）」を開催した。
					中学校部活動の地域展開に伴い、部活動指導員の確保や地域からの指導者の掘り起こしが課題となっている。

IV 教育委員会の権限に属する事務の管理及び執行の状況に関する点検・評価シート

教育指針 「かかわりあい 学びあい 育ちあう 学びの共同体」

上ノ国町教育委員会

領 域		主要課題及び目標	施 策 項 目	達成度	主 要 取 組 状 況	評 価	課 題 と 問 題 点
文化財の保護・活用、整備・公開	心の豊かさとし生活に潤いをもたらす芸術・文化活動を推進する。	芸術・文化活動の推進	本町の歴史と文化にふさわしい講演や芸術鑑賞などの開催に努める。		文化協会への活動支援を行い、町民文化祭を開催することにより、文化活動の発表の場を提供するなど文化活動の啓発に努めた。 また、舞台芸術や音楽鑑賞に触れることの少ない町民に対し、芸術・文化鑑賞事業（小「ARKEY THEATER」、中高一般「和楽-WARAKU-」）を行い、芸術文化へ触れる機会の提供を図った。	◎	文化協会の活性化と会員の増加に向け、地域でのサークル活動や個人での文化活動の人材の掘り起こしが課題となっている。
	町民図書館の充実を図る。	読書活動の推進	図書情報の発信と図書の整備を図り、読み聞かせボランティアと連携しながら読書活動の推進に努める。		図書室の利用を促進するため、毎月町広報紙への新着本の掲載や、小中学校への図書便りを年5回発行するなど、図書情報の発信を図った。 また、ボランティアサークルとの連携により、ブックスタートや小学校での読み聞かせ（上小12回、河北小3回）、大型絵本などの読み聞かせイベント「えほんのひろば」（2回、141名参加）を開催し、読み聞かせ用の紙芝居やエプロンシアターの素材提供を行い、活動の支援を図った。	○	活字離れが進む中、読書活動の啓発にボランティアサークルの協力が不可欠となっており、会員の拡充と担い手確保が課題となっている。
		重要文化財をはじめとする貴重な文化財の恒久的な保存活用	上ノ国町歴史文化基本構想の理念により、保存管理と整備・活用に取り組み、史跡上之国館跡を歴史的地域資産として適切な保存管理方法を定めた史跡上之国館跡整備活用基本計画に沿った事業推進を図り、旧笹浪家住宅や勝山館跡ガイダンス施設の維持管理に努めるとともに、上之国館跡調査整備センターの施設整備に伴う文化財施設の建設基本計画を策定し、重要文化財をはじめとする貴重な文化財の恒久的な保存活用を目指す。	◎	「史跡上之国館跡 花沢館跡・洲崎館跡・勝山館跡」の環境整備（草刈、草取り、支障立木の除去）を行い、史跡を通年で散策できるように努めた。 花沢館跡整備工事に係る整備検討委員会2回を開催し、花沢館跡へ説明板を設置した。 重要文化財指定品の保存修理は国庫補助を受け、委託先に外注して実施した。右製品24点を対象として保存箱5点の製作及び保存修理4点を行い、適切な保管に努めた。 埋蔵文化財包蔵地で小型風車の建設が予定されている箇所において、試掘調査対応を実施した。 史跡上之国館跡のうち洲崎館跡の整備事業を推進するため、文化財作業員5名を雇用して発掘調査を実施した。 文化財ミュージアム建設に係る建設委員会3回を開催し、文化財ミュージアムの基本的な事項を定めた基本構想の策定を行った。	勝山館跡の過去に整備した散策路や木製の整備箇所が老朽化しているため、再整備の必要性が生じている。 史跡の保存活用及びミュージアムの整備に係る運営体制について、検討する必要がある。 重要文化財を保管する上ノ国町役場庁舎2階の温度環境が一定でないことや書類と一緒に保管しているため、保管環境及び施設の整備を進める必要がある。 開発行為から埋蔵文化財包蔵地を保護するため、開発行為を行う事業者者に周知を行う必要がある。 出土品を保管している「上之国館調査整備センター」が老朽化のため、改修する必要がある。	

IV 教育委員会の権限に属する事務の管理及び執行の状況に関する点検・評価シート

教育指針 「かかわりあい 学びあい 育ちあう 学びの共同体」

上ノ国町教育委員会

領 域	主要課題及び目標	施 策 項 目	評 価	
			達成度	主な取組状況
				文化財施設では、町内のガイド団体と連携して観光客の受入れを行い、入館者の増加に努めている。 今年度は、昨年度より微増の入館者数で旧笹浪家住宅が1,828名（前年度1,149名）、勝山館跡ガイダンス施設が3,950名（前年度3,334名）となっている。 歴史講座は、「戦国水運体験（7/19）」20名、「六救さんつくり体験（11/3、3/7、3/18）」20名が参加している。「ふるさと学習」では、小中学校で地域の歴史・自然が授業に取り上げられ、年間7回授業での対応をしている。 大学との連携事業では、考古学の学芸員を志望する2名の学生が発掘調査に参加にし、専門的な技術の習得に努めている。 ○ 上ノ国町史編さん委員会の調査を7回開催し、町内の歴史文化に係る聞き取りや資料の確認を行った。町内の有識者で構成する上ノ国町史編さん委員会を1回、外部の有識者で構成する上ノ国町史編集委員会を2回開催し、「上ノ国町史」の今後の刊行内容について検討を行った。 また、デジタルアーカイブ「かみのくにまるっこまんま!! デジタルミュージアム」の内容を副読本や観光分野の内容も拡充する取り組みを行った。
				文化財施設では、旧笹浪家住宅の入館者数が勝山館跡ガイダンス施設と比較して少ないため、見学だけでなく体験も含めた施設の活用が必要である。 歴史講座やイベントが勝山館周辺に集中しているため、その他の地区で新たな視点における取組みを実施する必要がある。 関係する町内外の関係機関と連携を強化して交流人口の増加を図る必要がある。 町内外に点在する未指定文化財の所在確認や聞き取り調査が必要である。 町史のフルテキストデータをデジタルアーカイブに登載するため、アーカイブトップページ等のコンテンツの拡充が必要である。